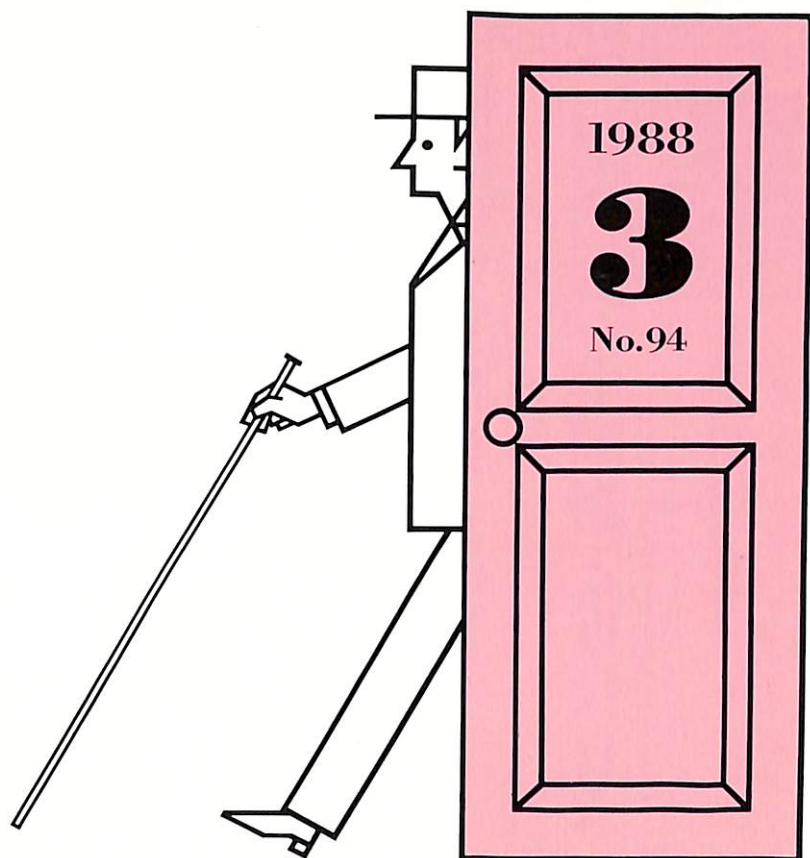


視覚 障害

その研究と情報

特集＊職場の人間関係



ISSN 0385-7476

SSK

岩波新書＊創刊50年記念

今年、岩波新書は創刊50周年を迎え、発行点数も1500点をこえました。これを期して表紙の色を変えて「新赤版」にいたしました。ますます旺盛に、多彩な新刊を発行して参りますので、一層のご愛読をお願い申し上げます。

最新刊13冊

新しい文学のために

大江健三郎著 文学的方法的・原理的な問題について考え、作家としての「最後の小説」を語る。若者のための文学入門。定価四八〇円

日本語 新版(上)

金田一春彦著 日本語の特徴は何か。発音・語彙・表記法・文法など全角度から解明する。旧版を30年ぶりに全面改訂。定価五三〇円

現代社会主義を考える

漢内謙著 ロシア革命から21世紀へ「ベレストロイカ」の意義を考え、社会主義再生への希望の道をさぐる。定価五三〇円

新哲学入門

廣松渉著 認識・存在・実践の三側面から、近代的世界観の根底的批判を展開し、新しい知の枠組への案内を試みる。定価四八〇円

宇宙論への招待

佐藤文隆著 プリンキピアとビッグバン―宇宙と物理と人間の関係に新しい光をあて、現代宇宙論の意味をさぐる。定価四八〇円

昭和将棋史

大山康晴著 十五世名人大山康晴は昭和十年に十二歳で本見金次郎八段に入門した。以来五十年余、名人をはじめとするタイトル獲得数・優勝回数は百二十を越え、現在もお現役で活躍している。本書は昭和将棋の歴史を自己の歩みとともに描く。定価四八〇円



当世・商売往来

別役実著 三十名の商売を描くことにより、現代社会の様々な断面と日常生活における裏面の真実を描写する。定価四八〇円

超伝導

中嶋貞雄著 科学史上空前のフィーバーを巻き起こした超伝導のすべてを、超伝導物理学の第一人者が明快に語る。定価四八〇円

岩波新書の50年

《別冊岩波新書》

岩波書店編集部編 激動の現代史とともに生きてきた岩波新書50年の歩みを興味深く語る。既刊書総目録・索引付。定価三五〇円

世界経済入門

西川潤著 為替相場の激動、株価の暴落、貿易摩擦の深化、揺れる世界経済の構造をやさしく解説する入門書。定価四八〇円

SDI批判

豊田利幸著 SDIの危険な実態をわかりやすく解説し、様々な幻想や誤解に批判を加え、核抑止からの解放を図る。定価四八〇円

中国語と近代日本

安藤彦太郎著 中国語教育を通して日中関係と日本人の中国意識を解明し、友好と理解のための中国語の必要性を説く。定価四八〇円

黒船異変

加藤祐三著 ベリーの挑戦―黒船の影響とは何か。「異変」の概念を用い、日本近代の開始と幕末社会の変容を描く。定価四八〇円

目 次

1988年 3月 No.94

2 ページ評論	松井新二郎… 2
特集 職場の人間関係	
座談会 「人間関係を調整する能力を」	
…日比野 清・乙川 利夫・川井田博美・加藤 俊和…	5
この人と語る	
仕事さがし奮戦記	
……………川島 昭恵・尾形 真澄…	24
私と統合教育	
高橋玲子さん——アメリカの光と影	35
世界の触地図の動向	
——メキシコの国際地図学会議に参加して——	
……………加藤 俊和…	43
視覚情報処理技術（1987年）	49
インフォメーション・コーナー	66
編 集 後 記	80



ノーマルな障害者観を

視覚障害者雇用促進連絡会会長 松井 新二郎

わが国の視覚障害者の職業は世界にその例をみない二つの特徴があります。それは働く多くの者があんま・鍼・灸業に従事し、しかもそれにより立派に自立していることであります。その2は、あんま・鍼・灸業以外の職業にしている者が諸外国に比して余りにも少ないということでもあります。従ってわが国の視覚障害者の職業の今日的課題は、わが国の視覚障害者の文化財、また共通財産ともよばれるあんま・鍼・灸業者の生活安定と、三療師の雇用による職業領域の拡大を図ることと、更にはこれ以外の職業能力を持つにもかかわらず、その能力に応じた職業選択の自由を失っている人びとのための新たな職域開拓にあると思います。従ってこの課題の解決のために長年にわたり、視覚障害者はもちろん、関係者は努力を続けてまいりました。幸いにも今日、三療師の民間企業乃至は養護学校でのヘルスキーパー、老人ホームでの機能訓練士、或いは、国家公務員の特別採用、地方公務員、更には盲学校のみならず一般学校での教育職、福祉施設の職員、あるいはまたプログラマー、電話交換手、オーディオタイピスト、工業的技能者等不十分ながらも、ある程度の職域、職野が開拓されてきていることは喜ばしい限りと言わなければなりません。

しかしながらこれとは全く反対に、血の滲む努力によりようやく確保した職場にもかかわらず、職業能力の不足、手がかかりすぎる、望ましい物理的環境の整備ができない、感覚代行機器の活用が自由に認められない、あるいはまた、通勤に問題がある等、種々の理由により転職乃至は退職を余儀なくされた者も決して少なくはありません。その中でも、職場での人間関係がどうしてもうまくゆかないという理由で、転職乃至は退職をせざるを得なくなったものももっとも多いという事実は現在職にあるものにとっても、また今後の視覚障害者の雇用の上においても見過ごすことのできない重要な問題で

あると思います。

近年各企業では専門の職業相談員をおき、障害者の受け入れにきめ細かな配慮を行なっています。それにもかかわらず、このような事実を否定できないことは、企業側にとっても、またわれわれにとっても大きな示唆を与えられることです。視覚の障害は身体の一部の障害であり、すべてではないと言っても、感覚の障害であるために正しい理解をもつことは容易なことではないと思います。また障害を受けた年齢においても違いがあり、個人差は著しいものがあり、そのニーズの個別性、多様化も複雑であります。退職を余儀なくしたあるケースの言葉ではありますが、目が見えないのになんで山登りをしたり、スキー等までやるのか、そんな無理をしなくてもいいのではないか等の言葉をきけば、国際障害者年で「障害者の完全参加と平等」の理念のもとにノーマライゼーションの実現をと叫ばれてはきましたが、この実現は全く道遠いものが感じられます。

社会の中には長い歳月の中で、障害者に対する差別、偏見の文化が通念として存在しています。この偏見の文化こそ障害者雇用を大きくはばむ根本的なものであると思います。最近福祉国家を超えて、福祉社会へ、更には21世紀の福祉をと言われています。差別は確かに社会のしくみであり、社会構造的現象であるので、法律や行政によって取り除けます。しかし偏見は、人間の人格構造的現象とよばれ、心の問題であります。従って社会の一人ひとりの意識の問題であり、言いかえれば障害者観であります。ノーマライゼーションは障害をもつ者も、もたない者と同様な生活のリズムで生活することです。従ってスポーツも、レクリエーションも、文化的活動も、共にできる社会づくりであります。働く者にとっては、身近なところで共に仕事をする人びとの正しい理解、そして偏見のない心が大事であります。そのためには、福祉の教育活動が家庭から学校へ、そして社会に、更に共に働く人びとの職場まで積極的に行われなければならないと思います。

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

人間関係に関する悩みを経験したことのない人は、おそらくいないでしょう。この悩みは、人間が社会的動物であることから生ずる宿命なのかも知れません。思えば因果な話です。まして、晴眼者集団の中で働く視覚障害者にとって、この問題は深刻です。そんな思いで本誌の企画を立てたのです。人間関係といっても、「心の問題」に留まりません。その集団のありよう、各々の障害者間に深く起因する問題なのです。この特集を通じて、私自身、このことを改めて実感させられた次第です。

さて、皆様はどんな感想をお持ちですか？ 次号から読者からの投稿欄を設けます。ご意見、ご感想を 400 字程度にまとめてお送りください。
(水谷昌史)

視 覚 障 害 1988年 3 月 No.94
年間購読料 3,000 円 (送料とも)
発行日 1988年 3 月 1 日
編集人 (連絡先)

日 本 盲 人 福 祉 研 究 会
〒 166 東京都杉並区成田東 5 丁目 36 番
15 号
電話 (03) 220 - 1421
振替口座 東京 6 - 1 6 1 0 3
発行人 身体障害者団体定期刊行物協会
〒 157 東京都世田谷区砧 6 - 26 - 21
印刷所 合同印刷株式会社
〒 130 東京都墨田区業平 2 - 9 - 13
電 話 (624) 6111 (代表)

協賛団体 日本点字図書館